第２　地域療育センター運営事業

地域療育センターは、横浜市が策定した「障害児地域総合通園施設構想」により設置された地域における療育の中核施設として、障害又はその疑いのある小学生までの児童とその家族が、地域の中で安心して生活できるよう、関係機関と連携しながら運営を行っています。

今年度も、これまでの地域療育センターの枠組みだけに捉われず、利用者や関係機関のニーズを的確に把握しながら、引き続き質の高いサービス提供を行い、利用者満足度の向上に努めました。

＜地域療育センター全体の重点項目＞

◇　一次支援事業（初期支援）の本格運用の開始

センター申込後、早期に利用サービスを提供する一次支援事業について、施設の開所及び職員の増員を図り、全療育センターで本格的に事業運営の拡大に取り組みました。センター利用開始時のソーシャルワーカーや心理士・保育士との面談に加え、親子で一緒に遊べるひろば事業として、児童には遊びのプログラムを提供し、保護者にはソーシャルワーカーや保育士等と気軽に相談できる場を設定して、保護者の不安軽減に繋げました。

◇　総合プランの提示

一次支援にて、児童の状況を保護者と職員で共有した後、希望がある方に二次支援として診療等を提供しています。その後、各関係職種による専門的な支援として、診断・療育支援・予後予測等の総合評価を試行・実施しました。児童が今後、集団や地域でどのように生活をしていけば良いのかという不安や悩みを抱えている保護者が、我が子をより客観的に理解し、児童に合った環境選択等の支援を多様な職種の観点をふまえて、一緒に検討することを目的としたアセスメント及び支援プラン等を書式にまとめた「総合プラン」の提示に取り組みました。

センター名	主な担当区
戸塚センター(児童発達支援事業所「ぴーす東戸塚※」を含む。) ※令和６年度までの「ぴーす東戸塚」は移転して、令和７年度から「ぴーす戸塚」として運営します。	戸塚・泉
北部センター(児童発達支援事業所「ぴーす中川」を含む。)	緑・都筑
西部センター(児童発達支援事業所「ぴーす鶴ケ峰」を含む。)	保土ケ谷・旭・瀬谷
港南センター(児童発達支援事業所「ぴーす港南」を含む。)	港南・栄

＜各地域療育センターの重点事項＞

◇　**戸塚センターでは、**横浜市による長寿命化工事により、施設利用に制約があったため、休館期間中の過ごしの場所と園外プログラムの行き先を、ラポール上大岡とすることで、経験の積み重ねを図る工夫を行いました。

◇　**北部センターでは、**きょうだい児預かり保育について、通園実施日に設定することができたため、大幅に対応児童数を増やすことができました。また、同委託団体に協力してもらうことで、西部センター及び地域療育センターあおばのきょうだい児預かり保育の開始にも貢献することができました。

◇　**西部センターでは、**低年齢のひろば事業の枠数拡大により、希望者には週 1 回の利用を案内できるようになりました。初期に保護者が相談できる場所を提供できたことで利用者にはもちろん、支援者にとっても、サービス選択支援の幅が増えました。また、令和 7 年度の電子カルテ導入に向けて業務整理を行いました。

◇　**港南センターでは、**ひろば事業については、未就園児、就園児、年長児と対象を分けて、心理士相談は主に 3～5 歳児を対象、保育士相談は主に 1～2 歳児を対象として実施しました。親子ともに安心してセンターに来所できるよう、丁寧な関わり・相談を心がけ、各サービスを担うことができる人材を、部門を超えて適切に配置しました。

1　相　談

◇　一次支援事業をぶらんちスペースで開始した結果、申込み中の 9 割の親子が利用し、相談から始まる支援のスタイルが定着しています。ひろば事業については、年齢別に実施し、開催回数等を大幅に増加して対応したため、利用者のニーズに合わせたサービス展開が可能になりました。

◇　不登校グループ「カラフル」では、親子の居場所、安心して過ごせる場として、多職種チームで取り組んで活動しました。また、横浜ラポールのサブアリーナやボウリングルーム、創作工房などを利用し、児童達の余暇活動の選択肢を広げるきっかけとしました。

(実績：全科利用申込数)　※(　)内は昨年度

	幼児		学齢		全体数	
戸塚センター	663 人	(671 人)	137 人	(88 人)	800 人	(759 人)
北部センター	619 人	(580 人)	136 人	(171 人)	758 人	(751 人)
西部センター	714 人	(684 人)	172 人	(165 人)	886 人	(849 人)
港南センター	474 人	(402 人)	113 人	(86 人)	587 人	(488 人)

2　診療・訓練

◇　一部のセンターでは、通園で開催している保護者教室や勉強会を年齢別で講座に参加できるように、通園利用の有無を問わず一体での運営としました。外来利用者にとっては、通園等入園前の時期に参加することで、先の療育の見通しを持つことができました。

(実績)　※(　)内は昨年度

センター名	診察数		各種訓練数		外来集団療育数	
戸塚センター	2,564 人	(2,660 人)	4,954 件	(5,623 件)	145 人	(169 人)
北部センター	3,595 人	(3,131 人)	6,195 件	(5,633 件)	192 人	(145 人)
西部センター	3,045 人	(2,847 人)	6,159 件	(6,282 件)	109 人	(95 人)
港南センター	2,423 人	(2,378 人)	4,730 件	(5,282 件)	159 人	(145 人)

３　集団療育

(1)　児童発達支援　（戸塚・北部・西部：定員 70 人、港南：定員 76 人）

◇　個々の課題に対し、療育活動の積み重ねや多職種による専門支援を加えたことで、行事やイレギュラーな活動でも発展的な取り組みができました。特に、運動プログラムや楽器プログラム等では、発表会という形で児童の姿を保護者と共有することができ、児童が積極的に楽しんでいる姿に成長を感じられたという保護者からの声を多くいただきました。

◇　療育の安全性の保障に関して、勉強会等で考える機会を作ったことによって、職員自身が児童の遊び方や危険に対する予防の視点を持ちながら、療育することができました。また、集団指導室や訓練室など広い部屋の過ごし方については、遊具の配置や感覚グッズの使用について検討を行い、ケガ防止も含めて児童が安心して過ごせる空間作りに取り組みました。

◇　療育参観に参加した保育所・幼稚園からの相談内容を直接聞き取り、また、訪問することで、児童の園での生活や環境・対応へのアドバイスを含めて、連携を強化することができました。

(実績)　　※(　)内は昨年度　※戸塚センターは９月よりふたばクラスがぴーすへ移転

センター名	継続利用児		新規利用児		合計	
戸塚センター(～9 月)	66 人	(56 人)	55 人	(75 人)	122 人	(131 人)
戸塚センター(9 月～)	60 人		1 人		61 人	
北部センター	49 人	(58 人)	41 人	(58 人)	90 人	(116 人)
西部センター	67 人	(50 人)	37 人	(54 人)	104 人	(104 人)
港南センター	56 人	(64 人)	56 人	(84 人)	112 人	(148 人)

(2)　児童発達支援事業所「ぴーす」

(**戸塚**：日々定員 12 人(～9 月)：日々定員 24 人(9 月～)、**北部・西部**：日々定員 12 人、**港南**：1 つの施設内で実施しているため、定員数が児童発達支援に含まれる)

◇　知的好奇心を持ち自発的に参加できるようなプログラムを各クラス工夫して実施しました。

◇　事業団内全地域療育センター合同で、ぴーす卒園児の小学 3 年生を対象に、ラポール等の協力を得て、イベントを実施しました。また、4～6 年生の保護者には、今後の進路を考えるにあたり必要な情報についての講座を開催しました。

(実績)　　※(　)内は昨年度　※ぴーす戸塚は９月よりふたばクラスが移転

センター名	継続利用児		新規利用児		合計	
戸塚(ぴーす東戸塚)～9 月	6 人	(12 人)	39 人	(36 人)	45 人	(48 人)
戸塚(ぴーす戸塚)　9 月～	47 人		46 人		93 人	
北部(ぴーす中川)	13 人	(16 人)	36 人	(32 人)	49 人	(48 人)
西部(ぴーす鶴ケ峰)	25 人	(28 人)	27 人	(33 人)	52 人	(61 人)
港南(ぴーす港南)	23 人	(18 人)	48 人	(24 人)	71 人	(42 人)

４　地域支援

◇　担当エリアのスクールソーシャルワーカーとの連絡会では、同じ福祉職としての視点に立って情報交換し、スムーズな連携を図りました。また、自立支援協議会や移動情報センター推進会議等に参加し、家族への支援について視野を広げる機会と

しました。一方、小学校の児童支援専任会や保育資源ネットワークなど、教育・保育との連絡会が途絶えている地域もあるため、不登校対応等、支援の目的に応じた連携について、今後検討します。

◇　関係機関との連携では、療育的な技法を具体的に伝えるだけではなく、配慮を要するこどもが地域で育つ上で大切にすべき理念の共有も含めて、技術援助、セミナー、オープンデーの各事業を展開しました。

(実績：0歳4か月療育相談)　※(　)内は昨年度

センター名	回数		人数		センターへの紹介数	
戸塚センター	12回	(12回)	101人	(101人)	7人	(7人)
北部センター	6回	(9回)	69人	(57人)	12人	(6人)
西部センター	12回	(12回)	107人	(106人)	5人	(5人)
港南センター	12回	(11回)	85人	(45人)	8人	(0人)

(実績：1歳6か月療育相談)　※(　)内は昨年度

センター名	回数		人数		センターへの紹介数	
戸塚センター	5回	(4回)	11人	(11人)	9人	(6人)
北部センター	5回	(5回)	9人	(7人)	8人	(2人)
西部センター	4回	(5回)	12人	(14人)	5人	(9人)
港南センター	4回	(3回)	6人	(5人)	3人	(4人)

(実績：関係機関技術支援)　※(　)内は昨年度

センター名	機関数・延べ回数			
戸塚センター	101か所	・150回	(119か所	・148回)
北部センター	169か所	・265回	(145か所	・302回)
西部センター	144か所	・233回	(161か所	・261回)
港南センター	86か所	・120回	(95か所	・127回)

(実績：学校支援事業)　※(　)内は昨年度

センター名	学校数・延べ回数			
戸塚センター	10校	・15回	(15校	・20回)
北部センター	15校	・34回	(16校	・23回)
西部センター	8校	・9回	(19校	・26回)
港南センター	11校	・12回	(8校	・9回)